

# こんなことに 気づいてあげて

暴力・虐待を防ぐためにあなたにできること



社会福祉法人

東京都社会福祉協議会

(暴力・虐待を生まない社会づくり検討委員会)

「どうして暴力・虐待はなくならないんだろう？」

「子どもや女性への暴力・虐待を、  
地域で未然に防ぎたい！」

そんな思いから、東京都社会福祉協議会では、暴力・虐待を防ぐため、地域でできることを皆さんと一緒に考えられるよう、この冊子を作成しました。

東京都内の子どもや女性のための福祉施設（児童養護施設・母子生活支援施設・婦人保護施設等）では、暴力・虐待を受けて施設に入所してくる子どもや女性が年々増えています。家庭などでの子どもに対する虐待、配偶者等からの暴力（DV）が原因です。暴力・虐待を経験した子どもや女性は、その後も生きづらさを抱え、福祉施設では寄り添いながら支援しています。

ここで紹介している事例などは、東京都内の子どもや女性のための福祉施設に入所してきた方々の事例を加工して作成しています。これらは、皆さんの身近で実際に起こっている事例です。これをもとに皆さんの地域で地域住民にできることを一緒に考えたいと思います。

暴力・虐待をなくすために、ぜひ皆さんの力をお貸しください。

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

暴力・虐待を生まない社会づくり検討委員会

# 暴力のことを考えてみましょう

そもそも  
暴力って、必要？

暴力は「やむをえない」ものなのでしょうか？  
暴力はどのようなときに使われるのでしょうか？  
相手に自分の想いを無理やり通すため？  
でも、それって…。暴力じゃなきゃできないこと？？  
人と人が気持ちや考えを伝えるコミュニケーション  
の手段に、暴力は必要ありません！！

「自分のことを理解してもらいたい」という想いは誰  
でも持っています。でも、伝える手段を間違ってしまったら…。自分  
の想いを通そうと暴力に及んでしまう危険性は私たちもあります。



あなたの身近で  
起きています！



児童虐待の児童相談所への相談件数は年々増加し、都内全体で年間  
5,414件にのぼります。

「大変なことになっているな」と感じるかもしれません。  
でも、実は、これって、あなたの身近で起こっていること  
なんです。

「家の中のことだから…」

「気になるご家庭があるけど、もしちがったら大変…」

「専門機関の領域かな…」

と感じていないでしょうか？

どんな影響が  
あるの？

暴力・虐待を受けた経験のある子どもや女性には次のような傾向がみ  
られる人もいました。

- 自分に自信が持てなく、何をしてもダメだと感じてしまう
- 人と関わるのが苦手になったり、生きづらさを抱えてしまう
- 暴力をコミュニケーションに使われてきたため、言葉で自分の気持ちを伝えるのが苦手になってしまう
- 安心できる存在が得られなかったため、甘えられる存在を無差別に探してしまう

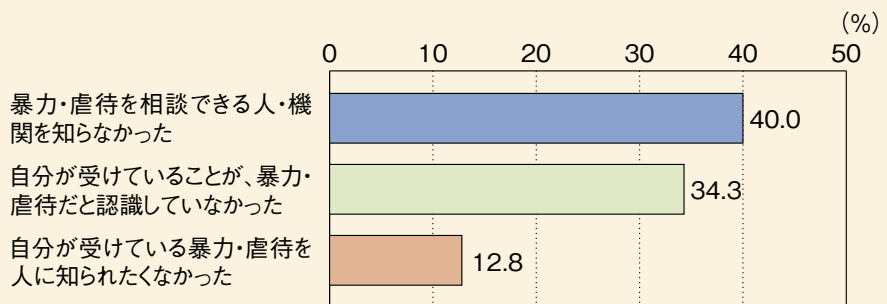


あなたに  
「気づいて欲しい」と  
思っています

「知られたくない」  
のでは  
ないのです!

東京都社会福祉協議会では、児童養護施設、母子生活支援施設、婦人保護施設へ入所する前に暴力・虐待を受けたことのある495人の実情を調査しました。

「どうして早く見つけてあげられなかったか？」を調べてみると…



「知られたくなかった」は1割にすぎず、むしろ「相談できることを知らなかった」、「自分が受けていることが暴力・虐待だと認識していなかった」が多いのです。

「よその家の中のことだから…」と思っていると、助けてあげることができないのです。

見逃さないで…  
「空振り」でも  
いいんです

「気になる家庭があるけど、もし誤解だったら…」と思い、気になったまま見逃してしまうことはありませんか？

でも、そこで見逃してしまったことで、問題が深刻化したケースが、調査では多くありました。逆に、通報を受けて状況を確認してみたら、「誤解だった」「虐待ではなかった」ということもあります。

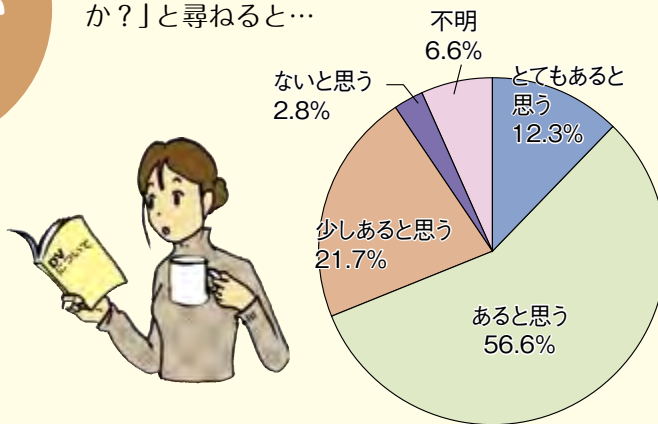
状況を確認する機関はどこから情報を得たかわからないように配慮します。無事を確認した民生児童委員さんからは、「空振りでホッとした」「話ができて良かった」という声もありました。

「誤解だったら」と躊躇して見逃さないで、「空振り」してもいいんです。



地域住民に  
できることが  
ある

暴力・虐待を受けた子どもや女性を受入れている福祉施設は、暴力・虐待を未然に防ぎたいと考えています。そのために、福祉施設としてもできることを応援したいと思っています。これらの福祉施設に「未然に防ぐために、専門機関以外の地域住民にもできることはありますか?」と尋ねると…



9割の福祉施設が「地域住民にできることがある」と答えました。つまり、「専門家の領域かな…」は、誤った理解なのです。

とはいっても、具体的にどうしたらよいのでしょうか?

どこに相談すればよいのでしょうか?

では、身近にいるあなただからできることを

一緒に考えてみましょう!



ここでは、調査から得られた本当に起きた事例から、悲しい結果になってしまったケースを5つのマンガで紹介しています。

調査では、9割を超える福祉施設が「地域住民にできることがある」と答えています。わたしたちには何ができるのでしょうか？

たとえば…

- 近隣に関心をもち、挨拶や声かけなどのできることから始めて、孤独を感じさせない
- ある程度の関係ができれば、相談できる機関を伝える
- 地域で「暴力・虐待を許さない意識」を高める
- 気軽に立ち寄れる場所を地域に作っていく
- 気になるときに、「どう思う？」と身近な人と話してみる
- 暴力・虐待を見かけたら、勇気をもって通報する
- 通報のハードルが高ければ、役所などに情報を知らせるだけでも良い

では、マンガをみながら何ができそうか一緒に考えてみましょう。

## 《 子育てに協力してくれない… 》

何も  
しなかったら…

と、向かいのお宅  
のコトを見て見ぬ  
フリをした

## ある事例では…

夫が「しつけ」と称して、泣き止まない赤ちゃんに虐待を繰り返しました。妻は夫をおそれ、その虐待を見て見ぬふりをしてしまいました。そして、通報を受けた警察が、傷だらけの赤ちゃんを発見する事態になりました。

わたしには  
何ができたのかな?

## 勇気を 出して一歩



と、向かいのお宅の  
コトを  
気にかけて



## あなたにもできること

### ● 自分から挨拶してみる

近隣の方にいきなり声をかけるのは勇気がいるかもしれませんが。隣近所の人とすれ違ったりしたら、自分から挨拶をしてみてください。挨拶から顔なじみになり、そこからあなたにできることが見つかるかもしれません。



### 虐待を受けている人の兆候

- ▶ 子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声
- ▶ 不自然なあざややけど
- ▶ 極端な栄養失調や発達の遅れ
- ▶ 乱暴な言葉づかい、極端な無口、表情が乏しい
- ▶ 大人への過度な反抗的態度、顔色を伺う態度
- ▶ 家に帰りがたらない
- ▶ 年齢や場所に不釣り合いな性的な言動、etc





何も  
しなかったら...私の  
考えすぎ  
かしら...と、放っ  
ておいた

## ある事例では...

なおみさんは友だちのいないさびしさを紛らわすため、お酒をたくさん飲むようになりました。保育園も休ませるようになりました。そして、近隣からの通報で警察が家に入ったときには、子どもが何日も食事も与えられず危険な状態で見つかりました。

わたしには  
何ができたのかな?

## 勇気を 出して一歩



と、なおみさんと誘う



## あなたにもできること



### ● 自分が暮らす地域に目を向けて

あなたが暮らす地域にも、高齢者、サラリーマン、学生など、いろんな人が暮らしています。楽しく子育てしている親もいれば、子育てに悩んでいる親もいます。まずは、自分が暮らす地域に興味を持ってみて。

### ● 不安を感じていそうな人がいたら声をかけてみて

子育てに疲れていそうな人がいたら「子育てはどう?」「大変ね」などと話しかけてみてください。子育てを応援していると伝えることで、わかってもらえると感じて心が軽くなるかもしれません。少しの勇気で親子を救えるかもしれません。





### 何も しなかったら...



と、放って  
おいた

### ある事例では...

お母さんはでかけたまま、何日も帰ってこなくなり、食事を与えないこともありました。周りに知られるのが怖くて、りょうくんを学校に通わせなくなりました。学校からの通報で児童相談所が家に入ったときは、りょうくんはやせ細った状態で見つかりました。

わたしには  
何ができたのかな?



## 勇気を 出して一歩



と、支援センター  
に連絡した



## あなたにもできること

### ● 「虐待かも？」と心配なときは、連絡して

「もしかしたら虐待かも…」と確信がもてなくても、子供家庭支援センターや役所に連絡してください。通報すると、いろいろな機関に連絡して事実確認をします。必要に応じて、立ち入り調査や一時保護することもあります。通告者の情報は、相談先の関係者以外に知られないことになっています。匿名でも連絡できます。



### 親も救うことになる

子どもからのSOSは親のSOSでもあります。虐待をしている人自身もいろいろな問題をかかえ、自分で解決することが難しい状況にあります。あなたの気づきと行動が子供だけでなく、親も救うことにつながります。





### 何も しなかったら...

DVに関わったらコワそう



と、放っ  
ておいた

### ある事例では...

ともこさんは夫からの暴力がエスカレートし、精神的に追い詰められうつ病になってしまいました。そして、命の危険を感じて、子どもを残して出て行ってしまいました。残された夫は、泣き止まない子どもに手をあげるようになりました。近所からの通報で警察が介入し、子どもの命だけは救えました。

わたしには  
何ができたのかな?

## 勇気を 出して一歩



と、相談することをすすめる



## あなたにもできること

### ● 耳を傾けて。話を受け止めて

DVの苦しみを話すことはとても勇気がいらします。暴力を受けていることを打ち明けてくれたら、否定したり疑ったりしないで、ありのままを受け止めて。

### ● 「どうしたの？」と声をかけてみて

DVの発見が遅れると命が危険になる場合があります。不安そうな表情で悩んでいる人がいたら、声をかけてみてください。自分で相談できる力がありそうなら、相談機関の連絡先を伝えてください。緊急性が高い場合は、すぐに相談機関や警察への連絡が必要です。



### Point 暴力を受けている人の兆候

- DV（ドメスティックバイオレンス）は身体的な暴力だけでなく、大声でどなる等の「精神的暴力」、性行為を強要する等の「性的暴力」、生活費を渡さない等の「経済的暴力」などがあります。
- ▶ 不安な様子、イライラしている、余裕がない
  - ▶ 家族や友人と会うことを制限されている
  - ▶ 身体に不自然なアザやキズがある
  - ▶ となりついている場面を目撃した
  - ▶ 人前で子どもを厳しく叱る、叩く、等

# 《 落ち着きがない子ども 》



## 何も しなかったら…



ムリに  
誘わなかった

## ある事例では…

まり子さんは、“他の子とは違う”という悩みをかかえ、保育園を休ませるようになりました。何度注意しても伝わらず、しつけが虐待に変わっていきましました。泣き叫ぶ子どもの声を聞いた近隣から警察に通報があり、虐待が表面化しました。

わたしには  
何ができたのかな？





## 勇気を 出して一歩



とにかく  
誘ってみる



## あなたにもできること

### ● 親は子育ての悩みを抱えていると理解して

子育ては幸せと大変さが両方あります。初めての育児だと「自分の子育てが間違っていないか？」と不安を抱えています。また、子どもの成長に不安があると、「自分の子育ての仕方が悪いのでは？」と悩むこともあります。



### ADHD (注意欠如・多動性障害)

年齢や発達に不釣り合いな不注意さや多動性、衝動性を特徴とする障害です。日常活動や学習に支障をきたす状態です。育て方やしつけによるものではなく、本人の努力不足でもありません。



# わたしたちに 何ができるのでしょうか？

実際に起きた事例をもとに、  
わたしたちに何ができるか  
考えてもらいました。



「虐待や暴力かな？」と思ったら

1人で抱え込まず、友達や家族に相談して

みてください。地域で受けとめ、話せる場所が必要なかもしれません。

通報や声かけをしても何も問題ない場合もあります。でも、何もしな  
いで見逃してしまうと命が危険になることもあります。

「空振り」をおそれないで！ 勇気を出して行動してみてください！

次ページからは、子育てや異性関係で悩んだり、困ったときに相談  
できる機関を紹介しています。匿名で大丈夫です。



「虐待かもしれない」

「暴力を受けているかもしれない」

と感じたときの連絡先でもあります。



# 相談先

## (子どもの場合)

「子育てに疲れてしまった…」 「隣の家が虐待をしているかもしれない？」 と思ったら下記まで連絡してください。匿名でも大丈夫です。あなたの秘密は守ります。

### 子供家庭支援センター

子育て家庭のさまざまな相談に応じます。育児疲れのための一時預かりなどのサービスの紹介や、地域の子育てに関する情報もあります。

区市町村名	電話番号	区市町村名	電話番号	区市町村名	電話番号
千代田区	03-3256-8150	葛飾区	03-3602-1389	東久留米市	042-471-0910
中央区	03-3534-2255	江戸川区	03-5662-5115	武蔵村山市	042-590-1152
港区	03-6400-0092	八王子市	042-656-8225	多摩市	042-355-3777
新宿区	03-3232-0675	立川市	042-528-4338	稲城市	042-378-6366
文京区	03-5803-1109	武蔵野市	0422-55-9002	羽村市	042-578-2882
台東区	03-3875-1889	三鷹市	0422-40-5925	あきる野市	042-550-3313
墨田区	03-5630-6351	青梅市	0428-24-2126	西東京市	042-439-0081
江東区	03-3646-5481	府中市	042-354-8701	瑞穂町	042-568-0051
品川区	03-5749-1032	昭島市	042-543-9046	日の出町	042-597-6177
目黒区	03-5722-9743	調布市	0120-087-358	奥多摩町	0428-85-1788
大田区	03-5753-9924	町田市	042-724-4419	檜原村	042-598-3122
世田谷区	03-5432-2848	小金井市	042-321-3146	大島町	04992-2-2381
渋谷区	0120-135-415	小平市	042-347-3192	利島村	04992-9-0011
中野区	03-3228-7867	日野市	042-599-6670	新島村	04992-5-1856
杉並区	03-5929-1902	東村山市	042-390-2271	神津島村	04992-8-1180
豊島区	03-5980-5275	国分寺市	042-572-8138	三宅村	04994-5-0982
北区	03-3914-9565	国立市	042-573-0192	御蔵島村	04994-8-2121
荒川区	03-3805-5523	福生市	042-539-2555	八丈町	04996-2-4300
板橋区	03-3579-2658	狛江市	03-5438-6605	青ヶ島村	04996-9-0111
練馬区	03-3993-2066	東大和市	042-565-3651	小笠原村	04998-2-3939
足立区	03-3852-3535	清瀬市	042-495-7701		

### 児童相談所

虐待や育児相談、不登校等の様々な相談に応じ、問題解決に必要な指導・援助をします。専門職員が対応します。ご本人、家族、地域の方々など、どなたからでもお受けします。

児童相談所全国共通ダイヤル TEL 1 <sup>いち</sup>8 <sup>やく</sup>9

児童相談センターよいに電話相談

(相談電話番号) 03-3366-4152

(聴覚言語障害者相談FAX) 03-3366-6036

※お住まいの地域の児童相談所に電話をおつなぎします。

# 相談先 (女性の場合)

配偶者暴力(DV)・交際相手暴力(デートDV)で悩んでいる方の相談をお受けします。  
「DVを受けている」「友達がデートDVかも？」などの場合は、お電話ください。

## 東京都配偶者暴力相談支援センター

### ●東京ウィメンズプラザ TEL 03-5467-2455

毎日 9:00~21:00 (年末年始を除く)

一般電話相談の他に、女性弁護士による法律相談、精神科医師による面接相談を行っています(上記電話にて要予約)。

### ●男性のための悩み相談 TEL 03-3400-5313

毎週月曜日・水曜日 17:00~20:00 (祝日・年末年始を除く)

### ●東京都女性相談センター TEL 03-5261-3110

月~金 9:00~20:00 (祝日、年末年始を除く)

### ●東京都女性相談センター多摩支所 TEL 042-522-4232

月~金 9:00~16:00 (祝日、年末年始を除く)

※緊急の場合 TEL 03-5361-3911 (24時間対応)

※お住まいの都内区市町村の相談窓口でも受け付けています。

### ●警視庁総合相談センター TEL 03-3501-0110、または#9110

月~金 8:30~17:15 (祝日、年末年始を除く)

### ●よりそいホットライン TEL 0120-279-338

24時間通話無料 どんな人のどんな悩みでもお電話ください。



一人で悩まないで...

相談窓口は、あなたの周りにあります。

あなたは一人ではありません。あなたの秘密は守ります。

まずは相談してみてください。



ISBN 978 - 4 - 86353 - 200-7

C3036 ¥300E

定価 本体価格 300円 +税

東京都社会福祉協議会



9784863532007



1923036003007

**ダウンロードできます!!**

東京都社会福祉協議会ホームページ

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/chosa/index.html>

**こんなことに気づいてあげて**

～暴力・虐待を防ぐためにあなたにできること～

平成28年2月 増刷

発行

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会  
暴力・虐待を生まない社会づくり検討委員会

〒162-8953 新宿区神楽河岸1-1

TEL 03-3268-7171 FAX 03-3268-0635

印刷 株式会社ファーストワン

●漫画・イラスト 市川リントロウ